

2022年度 事業報告書

特定非営利活動法人ピッピ・親子サポートネット

I. 事業の成果

2025年のピッピ保育園、ピッピみんなの保育園の統合にむけて、私たちは、ミッションを確認し、地域ニーズと重ね合わせながら未来を描き準備を進めてきました。

一方で、雇用や経済への不安に加え、コロナ禍も重なって人々の価値観や暮らし方、働き方は変化し続け、その影響は現場にも現れています。今まさに、変化を受け止めマネジメントする力が試されています、

昨年、次々に明らかにされた保育所での虐待事件が社会に与えた衝撃は大きく、福祉現場にも厳しい目が向けられました。私たちは、全ての現場で「利用者や家族を主体としたケア」を提供することを再確認しました。

また、史上最悪と言われた第9期(2024年~)に向けた介護保険制度改定の議論は、在宅介護の崩壊につながる内容で、私たちの介護事業の存続をも左右する大問題となりましたが、多くのケアの現場や、当事者・家族が声をあげ、ひとまず改悪を押し戻すことができました。私たちが声をあげることは、利用者の尊厳と自立を護ることにつながっています。今後も、法人内外でネットワークし、この難関を乗り越えていかなければなりません。

2021年度末を持って訪問介護事業（ヘルパーステーションみんな）は廃止しましたが、2022年度より、事業の継続とケアの質の向上を目ざして通所介護と居宅支援の介護保険事業2事業を統合し再スタートしました。

学齢期の放課後の居場所にも変化の波が押し寄せています。人材確保や世代交代をめざすとともに、持続可能な運営のために大きく運営形態を見直しました。

創設から19年を経て、各所で事業の縮小、統合、再編を進める中で、去年はアウトリーチ支援事業を再編し、ピッピヘルパーケア事業と移動支援事業をスタートさせました。必要とされながら、未だ、十分とは言えない「出向く支援」を豊かに広げ、長らく主に女性たちが家庭内のアンペイドワークで支えてきたしごとを可視化し、適正に評価できる政策・制度につくり変えることをめざしています。

これら、子育て・介護を社会で支え、ともに育ち・ともに暮らす実践をもって、現場から社会を変えるピッピの取り組みを振り返り、次のステップに進みます。

1. マネージメント力を高める

参加型の組織運営をめざして、W.Co代表、理事メンバーによるリーダー研修を実施しました。W.Coで運営する意味をディスカッションし次世代メンバーがともに学び合う機会となりました。

2.スキルアップをめざす

各事業で、困難を抱えるケースなどについて、相談支援事業担当者とともにケース検討を行いました。また一時保育や親子支援の取り組みの継続・推進のため、親子サポート連絡会での検討から、事業所間の共有研修がスタートし、互いの学び合いが進んでいます。

3.場を活かす、人を活かす

1)食で繋がる

フードシェア*いちがおは、法人内の各拠点でのフードドライブの取り組みと共に、青葉フードシェアネットワーク、フードバンクかながわ、セカンドリーグかながわや男女共同参画センター横浜北をはじめ地域の団体・個人との連携により、年間のべ451家族1552人に約3.3トンの食品をシェアすることができました。また「青葉フードシェアネットワーク」企画のフォーラムに参加し学び合い交流することができました。

2)若い世代との交流

アクションポートと連携し、各事業所で積極的にインターンシップ生の受け入れを進め7人の学生との共有ができました。また神奈川W.Co協会と連携し、となりのいえでの就労体験受け入れに取り組みました。引き続き、スタッフの世代交代に向けて積極的な取り組みが必要です。

4.ネットワークを広げる

NPO法人森ノオトと連携し新たな求人サイトでヘルパーという仕事を伝える中で、自分たちの仕事をどのように見直し伝えるかという学びの機会になりました。

また、W.Coはっぴいずを中心に、森ノオトの広報力アップワークショップに参加し発信力を高めるための学びの機会となりました。発信力をアップすることにより就労希望者との出会いが生まれています。

5.現場から社会を変える

・横浜ユニット連絡会や全国小規模保育協議会横浜連絡会で継続して提案してきたテーマについて2023年度予算で一定の成果を得ることができました。

・介護の崩壊をさせない実行委員会・国会院内集会に参画し、最悪の介護保険改定案を押し戻すことができました。

・一時保育に関するシンクタンクからのヒアリングや、認可外保育に関する審議委員会に参画し意見反映ができました。

*「一時預かり事業の実施状況に関する調査」（三菱UFJリサーチ&コンサルティング/厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業）

*「認可外保育施設の利用者の保育等ニーズに関する調査」（みずほりサーチ&テクノロジー株式会社/厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業）

・現場の課題の共有と解決に向け、各事業W.coのメンバーと神奈川ネットワーク運動・青葉との意見交換の場を持ちました。

・横浜ユニット連絡会、いきいき福祉会、神奈川ネット青葉と共に、上野千鶴子さんと考え

語る介護保険制度講演会を企画し、リアル参加・オンライン参加合わせて約140人の参加がありました。

6.法人機能を生かす

1) 各事業・W.Coとの協働憲章に基づく参加型の事業運営サポート

各W.Coリーダーとの研修を機会に、協働憲章の見直しに取りかかりました。

2) 事務・管理機能

・決裁システムの見直し・クラウド化、各事業所のひやりはっと・事故報告のクラウド化支援に取り組みました。

・10月に保育事業で発生した個人情報流出事故を受け「個人情報流出事案に関する検証のための第三者委員会」を設置し、再発防止にむけて全事業所で個人情報保護マニュアル等を見直しました。

7.事業の再編・リスタート

法人の直運営事業として「ピッピヘルパーケア」をスタートし、子育て家庭や困難を抱える親子の家庭をサポートする事業に取り組みました。養育支援ヘルパーの対応では食支援・他のW.Coメンバーとの協働など、地域資源と繋ぐことによりサポートが広がることが見えました。また、移動支援事業は、となりのいえの4つ目の事業として取り組み、ワーカー、利用者ともに広がっています。

II. 事業の内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①子ども子育て支援法及び児童福祉法に基づく認可保育園事業、放課後児童健全育成事業及び子育て支援事業

ア 認可保育園事業

- ・内 容 保育及び子育て支援事業（一時保育、園開放、育児講座等）
- ・日 時 通年
- ・場 所 ピッピ保育園及びピッピみんなの保育園(分園)
- ・支出額 154,782,522円
- ・受益対象者 認可保育園、一時保育及び子育て支援事業利用者
通常保育： 49人
一時保育： のべ 2,154人

イ 小規模保育事業

- ・内 容 保育事業
- ・日 時 通年
- ・場 所 りとるピッピ及び大場りとるピッピ
- ・支出額 59,757,968円
- ・受益対象者 通常保育利用者及び一時保育利用者

通常保育： 19人

一時保育： のべ 414人

ウ 子育て支援事業－1

- ・内 容 親と子のつどいの広場事業及び乳幼児一時預かり事業
- ・日 時 通年
- ・場 所 ピッピおやこの広場はっぴい及びここはっぴい
- ・支出額 22,235,076円
- ・受益対象者 利用者 のべ 3,415人

子育て支援事業－2

- ・内 容 ピッピヘルパーケア 産前産後・子育て支援ヘルパー派遣事業
- ・日 時 通年
- ・支出額 1,961,353円
- ・受益対象者 利用者 のべ 655人

エ 放課後児童健全育成事業

- ・内 容 小学生の放課後の健全育成
- ・日 時 通年
- ・場 所 ピッピ学童保育となりのいえ
- ・支出額 19,635,905円
- ・受益対象者 利用者 のべ 4,559人

②児童福祉法に基づく障害児通所支援事業、指定障害児相談支援事業

ア 障害児通所支援事業

- ・内 容 放課後等デイサービス事業
- ・日 時 通年
- ・場 所 ピッピデイサービスとなりのいえ
- ・支出額 30,429,007円
- ・受益対象者 利用者 のべ 2,936人

イ 指定障害児相談支援事業及び指定特定相談支援事業

- ・内 容 障害児・者計画相談事業
- ・日 時 通年
- ・支出額 4,641,817円
- ・受益対象者 利用者 のべ 243人

③介護保険法に基づく居宅介護支援事業、介護予防サービス事業、地域密着型サービス事業、第1号介護予防支援事業、及びその他介護保険外の在宅支援事業

ア デイサービスさくら

- ・内 容 地域密着型通所介護事業
- ・日 時 通年

- ・場 所 デイサービスさくら
- ・支出額 8,694,047 円
- ・受益対象者 利用者 のべ 934 人

イ 居宅介護支援大場町みんなのいえ

- ・内 容 居宅介護支援事業
- ・日 時 通年
- ・場 所 大場町みんなのいえ
- ・支出額 3,286,754 円
- ・受益対象者 利用者 のべ 365 人

④障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業、地域生活支援事業、及びその他の派遣事業

ア 移動支援事業

- ・内 容 移動介護及び通学通所支援
- ・日 時 通年
- ・場 所 ピッピ移動支援となりのいえ
- ・支出額 3,858,461円
- ・受益対象者 のべ 529人

⑤食や居場所づくり等を通して地域の助け合い・つながり合いを推進する事業

- ・内 容 居場所・フードパントリー 事業
- ・日 時 通年
- ・場 所 ピッピおやこルーム・大場町みんなのいえ
- ・支出額 3,908,073円
- ・受益対象者 利用者 のべ 2,282 人